

地域安全学会年間優秀論文賞を受賞しました（2023/5/27）

テーマ：災害科学

場 所：神奈川大学みなとみらいキャンパス（神奈川県横浜市）

5月27日（土）、地域安全学会の2023年度地域安全学会総会のなかで授賞式が開催され、佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）に2022年（令和4年）の年間優秀論文賞が授与されました。同学会の年間優秀論文賞は、当該年度発行の査読論文の中で特に優秀な論文を賞するものです。佐藤翔輔准教授は、この度、令和元年東日本台風（台風19号）の災害対応を経験した職員の「語り」を活用した災害対応研修を設計・実践し、その有効性を検証した研究成果が高く評価され、同年の年間優秀論文賞の受賞となりました。

佐藤翔輔准教授は、2013年、2019年にも年間優秀論文賞を受賞しており、年間優秀論文賞受賞回数が学会中トップです（合計3回）。それ以外にも論文奨励賞（2003年）、優秀発表賞（2016年）と、技術賞（2019年）の受賞で、同学会で計6賞を受賞しており、学会最多となります。

【受賞論文】

佐藤翔輔：行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する災害対応経験の伝承手法の設計と実践：東北地方公務員を対象にした風水害対応に関する研修事例（地域安全学会論文集，No. 41，pp. 285-294，2022.）



授賞式の様子（左：村尾修教授（学会長），右：佐藤翔輔准教授）

文責：村尾修（国際防災戦略研究分野），佐藤翔輔，新家杏奈（共に防災実践推進部門）